

静電気学会春期講演会_HRSB 賞報告書

東京工業大学 工学院

修士課程 1年 阿部哲也

私は、2018年3月5日に東京大学本郷キャンパスで開催された第19回静電気学会春期講演会に参加し、「大気圧誘電体バリア放電を用いた常温下におけるアンモニア貯蔵物質生成」というタイトルで口頭発表をさせて頂きました。発表内容は、近年騒がれている低炭素社会の実現に向けた新たな取り組みということで、大気圧誘電体バリア放電を使用し酸化マグネシウムナノ粒子の窒化を行うというものです。

春期講演会での発表は、自分の研究を今後発展させる良い機会でありました。発表をする際には自分の研究内容を端的にかつ正確に伝える必要があり、そのために研究についてより深く理解し要約する能力が身につきました。また、質疑応答の際には自分の考察に対し異なった観点からの意見を頂くことができ、新たな研究の方向性を見出すこともできました。

今回の受賞を励みに、静電気の分野における学問と技術の進展に貢献できるよう精進いたします。末筆ではございますが、ヒロセ・ブランズ様からの寄付により、このような貴重な機会に対する補助を提供していただきましたこと、心より感謝しております。ありがとうございました。

